

ツリガチ!

TSURI GACHI

★ナブラ撃ちで良型のスマをキャッチ

これはうれしいね!

Profil

◆よしおか すずむ
1982年生まれ。
ヨッシーの愛称で親しまれている。一つテンヤマダイ、ライト系オフショアルアーを得意とする。ジャックソルトプロスタッフ、シーガーインストラクター。



外房 大原沖のSLJ

撮影/文◎本誌編集部

★本編(58ページより)は高橋剛が執筆。沖釣りの楽しさをヨッシーとともにお伝えします!

★スマがヒットし、SLJ用ロッドが弧を描く

楽し〜!



▲ボトム付近をリフト&フールさせ2.2キロのヒラメを上げた藤野さん



▶マハタを釣り上げた柏さん

◀良型のカサゴをゲット



▼バンブレスジグTG SLJでマダイを釣り上げた船長の息子の大威翔(たいと)くん



7月下旬に釣行したのは外房大原港の広布号。野島幸一船長が向かった釣り場は大原沖の水深20〜30メートル前後。この海域で釣れるのはマハタ、カサゴ、メバル、ヒラマサ、イナダ、ワラサ、カンパチ、サバ、マダイ、ヒラメなどなど。

ヨッシーこと吉岡進がエサ、ルアー釣りを問わず様々な釣り物にガチでチャレンジしていく連載「ツリガチ」。第3回は外房大原のスーパードライジギング(以下SLJ)。ライトなタックルと軽いジグを使い、その場所で釣れるすべての魚がターゲットとなる。何が食ってくるのか分からないところや大物がヒットする可能性もあるのが魅力で近年、人気急上昇中!



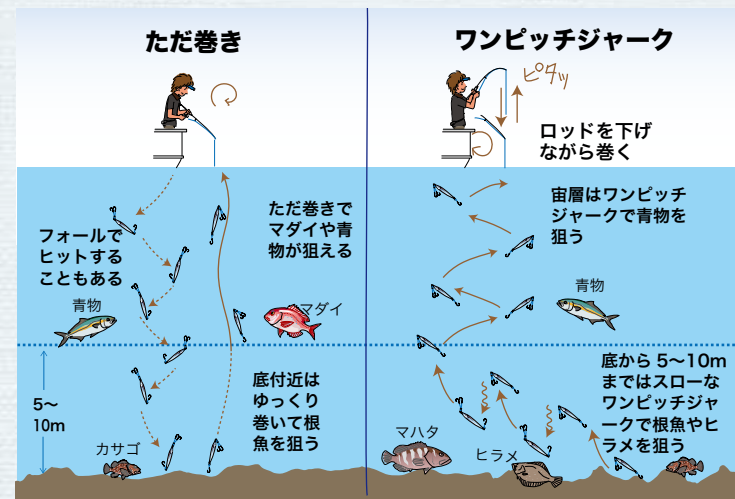
▲釣り場は大原沖の水深20〜30メートル前後、横流して探っていく

SLJの釣り方イメージ

●基本はワンピッチジャークで底付近をスローな誘いで根魚やヒラメにアピール。アタリがなければ1秒間にハンドル1回転のワンピッチジャークで宙層を探り青物を狙う。マダイにはただ巻きが有効。フォールで食ってくることもあるので投入時も集中しよう。船下でアタリがなければジグを遠投して斜めに引いて広く探る。



▲ナブラを狙うときはアンダーハンドでジグをキャストし広く探る



★強烈な引きでラインがどんどん出ていく



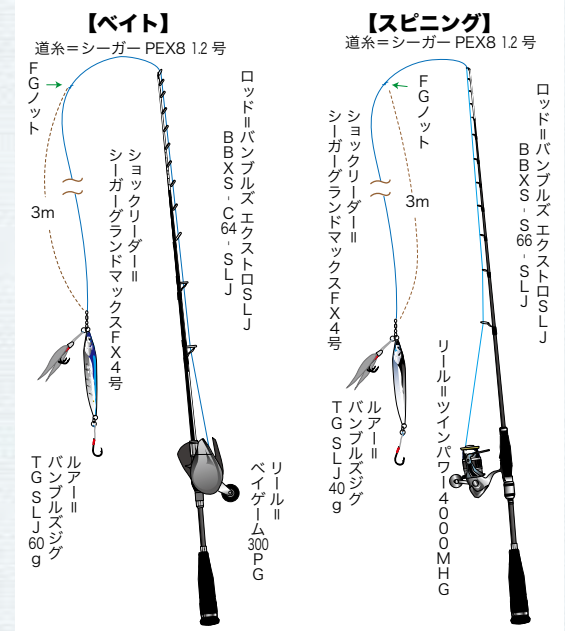
▲オリジナルの広布号ジグでイナダをキャッチ。ジグは船内で購入可



◀イナダの群れに遭遇し、船中全員安打を達成
▶イナダの魚影拔群!

SLJタックル

▶フルリッドのSLJ専用ロッドならしっかり曲げてファイトを楽しむことができる



▲バンブルズジグTG SLJはフロントフックに専用のネクタイを装備し、アピール力が高い

#船宿インフォメーション

外房大原港 **広布号**
☎070-3526-1091
(詳細は巻末の情報欄参照)
●料金=スーパーライトジギング予約乗合一人1万1000円(氷付き) ●備考=午前船5時、午後船11時半集合、集まり次第出船



◀ヨッシー、大威翔くん、野島幸一船長(右)
▲全長約20メートル、14トンの船でフロントはフラットデッキで釣りやすい

★「ヨッシーの最新チウオ動画」公開中。YouTube 釣り情報チャンネルでご覧になれます。



◀バンブルズジグTG SLJで3キロ級が上がった

★ほぼ同時にヒットしたヨッシーと大威翔くん



▲1キロ前後のマダイがよく釣れた
◀80グラムのタイラバで4キロ弱を手にした高木さん

ポイントに到着するとベイトの反応がバッチリ映っているとのこと。先陣を切ったのはヨッシーで「バンブルズジグTG SLJ」40グラムにイナダがヒット!

その後も、ポイントを移動するたびにトリヤマやナブラに遭遇し、船内のあちこちでイナダが釣れ上がる。

終盤にはマダイのフイバータイムに突入り、1キロ前後を主体に2.5〜4キロ弱の中大ダイも交えて盛り上がった。

今回は、専用ロッドとジグを使い、外房のSLJを楽しんだヨッシー。詳しくは58ページからの本編にて!

▼ジグが着底し、巻き上げ直後にヒットした2.5キロ級

